

用語集

あ行

一般混乗

スクールバスや患者輸送バスなど、利用者が限定されている公共交通に準ずる交通モードに、一般の利用者も乗ることができるようにすることです。

か行

カーシェア

事前に登録したユーザーが特定の車を利用するサービスです。短時間から利用でき、レンタカーよりも安価かつ気軽に利用できます。

キスアンドライド

鉄道駅やバス停留所などの公共交通機関まで自家用車で送迎してもらい、公共交通を利用する手法です。

共創・MaaS実証プロジェクト

地域における交通課題の解決と、より持続可能な地域交通の実現を目指し、国土交通省が推進している事業のことです。

交通結節点

鉄道駅や主要バス停留所など、交通手段を相互に連絡することができる乗り継ぎ施設のことです。

交通モード

鉄道、自動車、船舶、飛行機、徒歩など、人や物が移動する際の手段や方法、サービスのことを指します。

互助・共助による運送

互助による運送は、家族や友人、親しい関係者が自発的に支え合うことで成り立つ移動手段のことです。共助による運送は、地域住民が主体となり道路運送法の許可や登録を必要としない範囲でのボランティア輸送のことです。

コミュニティバス

地域住民の移動手段を確保するため、行政が運行主体となって運行しているバス事業のことです。行政から交通事業者へ運行委託をしているバス路線も含まれます。

コンパクト・プラス・ネットワーク

医療、福祉、商業などの生活サービス機能を集約し、地域公共交通と連携した国土交通省が推進するまちづくりの方針です。

さ行

サイクルアンドライド

鉄道駅やバス停留所などの公共交通機関まで自転車で向かい、交通結節点などに自転車を駐輪して、公共交通を利用する手法です。

産学官

社会や経済の発展を目指し、それぞれの強みや資源を活かして連携する、産（産業界）、学（学術機関）、官（官公庁）の3つの主体を指す言葉です。

シェアサイクル

一定の地域内に設置された複数のサイクルポート（駐輪場所）を利用して自転車の貸出しや返却を行うことができるシステムのことで。

自家用車活用事業(日本版ライドシェア)

海外で普及しているライドシェアのサービスとは異なり、タクシー不足を解消するために、タクシー事業者が主体となり、自家用車と一般ドライバーを活用する新しい仕組みのことです。国土交通省において、タクシーが不足する地域、時期や時間帯、不足車両数を指定し、運行が許可されたもののみ実施されます。

自家用有償旅客運送(公共ライドシェア)

交通事業者によっては十分な輸送サービスが提供されず、地域の交通や移動制約者の輸送が確保されていない場合において、公共の福祉を確保する観点から導入される、自治体運営バス、NPO法人、自治組織などによる有償運送のことです。「公共ライドシェア」とも呼ばれます。

社会資本整備総合交付金

国土交通省が所管する地方公共団体向けの個別補助金を一括化した交付金のことです。地方公共団体が主体的に社会資本整備を行うことを支援し、地域の課題解決や活性化を促進することを目的としています。

た行

地域間幹線系統

複数の市町村をまたがって運行するバス路線のうち、運賃収入のみでは維持できないものの、地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持する必要があるため、国が補助対象としている路線のことです。

中山間地域

市街地の周囲かつ、平地の周辺部から山間地にかけての丘陵地や傾斜のある地域のことで、人口減少や高齢化による、生活や交通利便性の確保が課題です。

デマンド交通・乗合タクシー

目的地に直行する通常のタクシーや、定時に決まった路線を走るバスとは異なり、利用者からの要請(デマンド)に応じて、他の人も乗り合わせて利用する送迎サービスです。タクシーより安価に利用できますが、乗り合わせて利用するため、時間に余裕を持って利用する必要があります。

は行

パークアンドライド

鉄道駅やバス停留所などの公共交通機関まで自家用車で向かい、交通結節点などの駐車場に駐車して、公共交通を利用する手法です。

バスベイ

バス停留所がある場所において、歩道に切れ込みを入れたような形で設けられる、バスの停車スペースのことです。

バス停車時の後続車の追い越しが容易な構造のため、交通渋滞の緩和や、事故等が発生する恐れが低いため、安全性と利便性の高いバスの運行や乗降が可能となります。

バスロケーションシステム

GPSなどを利用してバスの位置情報を収集し、リアルタイムでバスがどこにいるか、あとどのくらいで到着するかなどの情報を提供するものです。

PDCA サイクル

効率的な施策推進のために、Plan(計画)⇒Do(実行)⇒Check(評価)⇒Action(改善)の4段階を繰り返すことで事業を継続的に改善していくプロセスのことです。

フィーダー系統

一般的には幹線(地域間幹線系統や鉄道等)と接続し、主要な交通拠点と地域内の各地点を連絡し、地域内の移動を支える支線の役割を担うバスやデマンド交通等を指します。

狭義では「地域公共交通確保維持改善事業」の対象となる地域内のバスやデマンド交通等を示します。

ま行

モータリゼーション

自家用車が普及し、人々の生活に深く浸透していく現象を指します。

モビリティ・マネジメント

ひとり一人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のことです。

ら行

ライドシェア

広義には、第二種免許を持たない一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶサービスのことです。日本では、「自家用車活用事業（日本版ライドシェア）」と「自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）」の2つがあります（各項目の用語集を参照）。

公共交通利便増進実施計画

地域公共交通の利便性を向上させるために、ネットワークの再編、ダイヤ・運賃などのサービス面の見直しを含めた具体的な事業計画のことです。地域交通法に基づき、地方公共団体が策定する「地域公共交通計画」に位置付けられた「地域公共交通利便増進事業」を実施するために作成されます。

修正履歴

令和8年2月27日 第4章 都市圏施策 1-2 の実施イメージの図を修正